

業務運営進行表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

局名	教育局
----	-----

I 業務概要

教育局は、小・中学校や県立の高等学校・中等教育学校・特別支援学校、図書館・博物館・文化財などに関する仕事をしています。

かながわ教育ビジョンの着実な推進に向け、「生涯学習社会における人づくり」、「共生社会づくりにかかわる人づくり」、「学び高め合う学校教育」などの教育施策を重点的な取組みとして、様々な課題解決に努めています。



II 支出の状況

(単位：千円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	累計	
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	399,656,743	96,805,472	74,619,766	116,456,147	70,010,675	34,428,679	392,320,739
	維持管理費	5,594,546	706,625	1,316,940	1,236,655	1,807,761	524,582	5,592,563
	計	405,251,289	97,512,097	75,936,706	117,692,802	71,818,436	34,953,261	397,913,302
人件費(注1)			38,353,298	25,586,734	39,356,109	25,768,622	164,923	129,229,686
<b>合計</b>			<b>135,865,395</b>	<b>101,523,440</b>	<b>157,048,911</b>	<b>97,587,058</b>	<b>35,118,184</b>	<b>527,142,988</b>

(注1) 人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額(事業主負担分)及び退職手当相当額が含まれています。

(注2) 所属進行表の額を集計しているため、各計欄は一致しない場合があります。

III 職員配置状況


配置職員数	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	13,393	13,424	13,434	13,521
	上記以外の職員	6,066	6,899	6,894	6,663
	計(人)	19,459	20,323	20,328	20,184

IV 業務実施状況

1 総務室


(1) かながわ教育ビジョンの推進状況

「かながわ人づくりコラボ2016」を開催し、県民との教育論議を行うことで、明日のかながわを担う人づくりを進めるための教育施策の推進を図る。

項目	実績・進捗状況	
かながわ教育ビジョンの推進  「かながわ人づくりコラボ2016」	第1四半期	「かながわ教育月間」を新たに定め、11月のコラボ開催に向け、内容を検討した。
	第2四半期	「かながわ人づくりコラボ2016」開催に向けて、準備を行った。
	第3四半期	11月5日に「かながわ人づくりコラボ2016」を開催(378人参加)し、県民との教育論議等を行った。
	第4四半期	平成29年度の「かながわ人づくりコラボ」の内容の充実を図るため、共催組織とともに検討した。

(2) 県立高校改革の推進状況

平成28年度を始期とする「県立高校改革実施計画(全体)」(平成28年1月策定)の着実な実現に向けて、同時に策定した「県立高校改革実施計画(I期)」の取組みを総合的に推進する。

項目	実績・進捗状況	
県立高校改革実施計画(全体)及び(I期)の推進 	第1四半期	次年度学科改編等対象校の校名を検討した。
	第2四半期	次年度学科改編等対象校のうち4校の校名案の公表を行った。
	第3四半期	次年度学科改編等対象校として、4校の校名変更及び10校の学科の新設について、条例・規則を改正した。
	第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の再編・統合校1組(1校1分校)の校名検討に向けて、準備を行った。</li> <li>・県立高校改革の紹介リーフレットを作成し、県内の国公立中学校の2・3年生に配布した。</li> <li>・次年度再編・統合対象校について設置計画を策定し、中学校等関係機関に送付し、周知を図った。</li> </ul>

2 行政部

(1) 不祥事根絶に向けた取組

より効果的な不祥事の未然防止に向けて、平成27年度に実施した県立学校重点課題総点検の結果等を踏まえ、教職員の業務の実態把握・分析を行い、不祥事につながる問題点等を抽出し、各種の事務マニュアル類を学校現場の実態を踏まえたものに整備する。

項目	年間目標(計画)	実績・進捗状況 (単位:人)				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
懲戒処分者数	11人以下	17	0	5	5	27

(2) まなびや計画の着実な推進


児童・生徒等の安全確保のため、耐震化工事等を着実に実施する。

項目	年間目標(着工数)	実績件数(着工数)				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
耐震化工事	4	3	0	1	0	4
老朽化対策工事	35	0	32	3	0	35
建築基準法第12条等に基づく点検	184	0	169	15	0	184

### 3 指導部


#### (1) グローバル人材の育成

豊かな語学力・コミュニケーション能力、日本の文化や諸外国の文化への理解力を身に付け、様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成するため、英語学習に意欲的に取り組む生徒を増やし、英語力を有する生徒の増加に取り組む。

項目	実績・進捗状況	
英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる全生徒に対する割合 年間目標 42.5% 年間実績 38.6%   <b>海外フィールドワーク</b>	第1 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語資格検定試験活用促進支援事業の実施校を募集した。</li> <li>グローバル教育研究推進校から6人の英語教員を海外研修に派遣した。</li> </ul>
	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語資格検定試験活用促進支援事業の応募を受け付けた。</li> <li>海外研修に派遣した6人の教員が研修の成果を教育委員会事務局に報告した。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語資格検定試験活用促進支援事業の追加募集を行った。</li> <li>海外研修に派遣した6人の教員が各校において公開研究授業や研修成果の報告会を実施し、校内外に普及した。</li> </ul>
	第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語資格検定試験活用促進支援事業を活用した7,956人のうち、英検準2級以上相当の英語力を有する人数の割合が約80%という結果となった。</li> <li>海外研修に派遣した6人の教員は、研修の成果を、報告会や研究授業などを通して校内外に普及した。</li> </ul>

#### (2) 入学者選抜における誤りの防止

平成27年度、平成28年度県立高等学校入学者選抜において、採点誤り等があったことから、原因の究明と再発防止策の検討を行い、誤りのない公正な入学者選抜を実施する。

項目	実績・進捗状況	
平成29年度入学者選抜における誤り件数 年間目標 0件 年間実績 0件   <b>「県立高等学校入学者選抜学力検査採点誤りに関する再発防止・改善策」手交</b>	第1 四半期	「県立高等学校入学者選抜調査改善委員会」の最終とりまとめの報告を受け、「県立高等学校入学者選抜学力検査採点誤りに関する再発防止・改善策」を策定した。
	第2 四半期	県立学校長会議入学者選抜研究会に新たにワーキンググループを設置し、マークシート方式の導入に向けて、基本マニュアル作成の検討を進めた。
	第3 四半期	マークシート方式の導入に向けて、採点システム機器を用いた研修会の実施や基本マニュアルの作成、答案の写し交付の方策等の検討を行い、厳正な入学者選抜の実施に向け、準備を進めた。
	第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>マークシート方式による採点、答案の写し交付、教育委員会による再点検等を行い、採点誤りのない入学者選抜を実施した。</li> <li>平成29年度の取組状況について、県立高等学校入学者選抜調査改善委員会に報告した。</li> </ul>


(3) 確かな学力の向上

確かな学力を育成するため、生徒が主体的に考えたり、発表するなどの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

【かながわグランドデザイン プロジェクト No.15 教育】

本事業は本県の総合計画である「かながわグランドデザイン」のプロジェクトに位置づけられている事業です。

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/783679.pdf#page=46>

項目	実績・進捗状況	
<p>主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力を高めることができたと思う高校生の割合 年間目標 59% 年間実績 54%</p>  <p style="text-align: center;"><b>自主的学習</b></p>	第1 四半期	指導主事が県立高校40校を訪問し、各校の「組織的な授業改善」の取組について、成果と課題を把握し、指導・助言を行った。
	第2 四半期	指導主事が県立高校20校を訪問し、各校の「組織的な授業改善」の取組について、成果と課題を把握し、指導・助言を行った。
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事が県立高校70校を訪問し、各校の「組織的な授業改善」の取組について、成果と課題を把握し、指導・助言を行った。</li> <li>・5地域における研究発表会において、研究成果の普及を行った。</li> <li>・通信制を除く全県立高校において、生徒学力調査を実施した。</li> </ul>
	第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事が県立高校5校を訪問し、各校の「組織的な授業改善」の取組について、成果と課題を把握し、指導・助言を行った。</li> <li>・1地域における研究発表会において、研究成果の普及を行った。</li> <li>・生徒学力調査の結果を各生徒に返却するとともに、県全体の結果と各学校ごとの分析結果をそれぞれの学校に配付した。</li> </ul>




(4) ICT利活用教育の推進

確かな学力を育成するため、グループ学習やICTを活用した学習などを通じて言語活動を充実させるなど、組織的な授業改善を実施する。

【かながわグランドデザイン プロジェクト No.15 教育】


本事業は本県の総合計画である「かながわグランドデザイン」のプロジェクトに位置づけられている事業です。

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/783679.pdf#page=46>

項目	実績・進捗状況	
生徒にICT活用を指導する能力が高まったと感じる教員の割合 年間目標 70% 年間実績 73.3%   <b>ICTを活用した授業</b>	第1 四半期	指導主事が県立高校30校を訪問し、多くの教員がICTを効果的に活用した授業を行えるよう指導・助言を行った。
	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事が県立高校7校を訪問し、多くの教員がICTを効果的に活用した授業を行えるよう指導・助言を行った。</li> <li>多くの教員がICTを効果的に活用した授業を実践できるよう、機材の整備を行った。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事が県立高校40校を訪問し、多くの教員がICTを効果的に活用した授業を行えるよう指導・助言を行った。</li> <li>5地域における研究発表会において、研究成果の普及を行った。</li> </ul>
	第4 四半期	指導主事が県立高校1校を訪問し、多くの教員がICTを効果的に活用した授業を行えるよう指導・助言を行った。

(5) 朝のラジオ体操を通して体力の向上と生活習慣の改善

朝のラジオ体操を通して体力の向上と生活習慣の改善に取り組み、未病を治す基礎づくりにつなげる。

項目	実績・進捗状況	
「みんなで朝ラジ!!」参加者数 年間目標 18,000人 年間実績 35,348人   <b>「みんなで朝ラジ!!」</b>	第1 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>「県内一斉ラジオ体操デー」を7月23日～25日及び8月20日～22日に設定し、広報活動を行った。</li> <li>ラジオ体操カードを県内全児童に配付した。</li> </ul>
	第2 四半期	「県内一斉ラジオ体操デー」を6日間実施し、35,348人の参加があり、「みんなで朝ラジ!!」参加者数の年間目標を達成した。
	第3 四半期	来年度以降も引き続き、ラジオ体操を定着させるため、事業内容の検討を行った。
	第4 四半期	来年度実施するラジオ体操講習会を共催する市町村を募集し、共催することとなった大井町と事業内容の検討及び調整を行った。


(6) 子どもの未病対策の取組

誰もが生涯にわたりスポーツに親しみ、心身ともに健康で豊かな生活を送るため、小学校の頃からの運動やスポーツの習慣作りを行う。

【かながわグランドデザイン プロジェクト No.16 スポーツ】

本事業は本県の総合計画である「かながわグランドデザイン」のプロジェクトに位置づけられている事業です。

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/783679.pdf#page=47>


項目	実績・進捗状況	
小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率 年間目標 44% 年間実績 44.8%  <b>「体力向上キャラバン隊」の派遣</b>	第1 四半期	「体力向上キャラバン隊」を小学校27校に計29回派遣するとともに、体力テスト取組リーフレット等を配付した。
	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力向上キャラバン隊」を綾瀬市主催の研修会（10校参加）に派遣した。</li> <li>・健康情報誌「Joy!Joy!通信」を作成・配付した。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トップアスリートのスポーツ教室」を8回実施（参加者762人）するとともに、運動習慣カードを168,000部作成・配付した。</li> <li>・平成28年度健康・体力づくり推進フォーラムを開催し、302人の参加があった。</li> </ul>
	第4 四半期	「子ども☆キラキラプロジェクト」の取組として「体力向上キャラバン隊」を小学校1校に派遣するとともに、「Joy!Joy!通信」を作成し、県内の全小学校に配付した。

4 インクルーシブ教育推進課

(1) インクルーシブ教育の推進に係る理解啓発

県民対象及びパイロット校設置地域対象のフォーラムを開催し、インクルーシブ教育の推進に係る理解啓発を行う。

項目	年間目標 (計画)	実績・進捗状況 (単位：人)				
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	累計
フォーラム参加者数	800	0	0	712	0	712
(前年度実績)	727	0	300	427	0	727




**インクルーシブ教育推進フォーラム(28年11月)**

## 5 支援部


### (1) いのちの授業の実践

児童・生徒がいのちを大切にすることをはぐくみ、自己肯定感を高め、社会の一員としての自覚を持つことができるよう、「いのちの授業」を実施する。

項目	実績・進捗状況	
「いのちの授業」の推進  <b>「いのちの授業」(28年度)大賞表彰式</b>	第1 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちの授業」大賞にかかる作品募集を行った。</li> <li>・「いのちの授業」の事例収集を行った。</li> </ul>
	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちの授業」大賞にかかる作品募集を行い、61校から計5,265作品の応募があった。</li> <li>・「いのちの授業」の事例収集を行った。</li> <li>・各市町村教育委員会に「いのちを大切にする取組等の充実について」呼びかけを行った。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちの授業」大賞にかかる作品審査を行い、11月27日に表彰式を開催した。</li> <li>・「いのちの授業」の実践について、44,644件(前期分)の報告があった。</li> <li>・「いのちの授業」の事例収集(後期分)を行った。</li> </ul>
	第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちの授業」の実践について、88,803件の報告があった。</li> <li>・「いのちの授業」大賞受賞作品の文集を作成し、各学校に配付した。</li> <li>・「いのちの授業」ロゴマークを作成し、各学校に周知した。</li> </ul>


### (2) いじめ・暴力行為等の未然防止等に係る取組の推進

元気な学校プロジェクトを進め、いじめ、暴力行為、不登校等の問題行動等の未然防止に努める。

項目	実績・進捗状況	
いじめ・暴力行為等の未然防止等に係る取組の推進  <b>「ファミリー・コミュニケーション・フェスティバル」</b>	第1 四半期	企業等と連携し、5月28日・29日にファミリー・コミュニケーション・フェスティバルを実施し、9,208人の参加があった。
	第2 四半期	7月11日に第1回神奈川県いじめ防止対策調査会を開催し、いじめに関する学校と専門機関との連携のあり方について協議した。
	第3 四半期	12月16日に第2回神奈川県いじめ防止対策調査会を開催し、いじめに関する学校と専門機関との連携のあり方について協議した。
	第4 四半期	3月22日に第3回神奈川県いじめ防止対策調査会を開催し、諮問事項について、「いじめに関する学校と専門機関との連携のあり方について」をサブテーマとして、学校及び教育委員会が行うべきことについて協議した。

(3) 特別支援学校における就労支援の促進


障害のある児童・生徒の自立と社会参加を図るため、就職先とのさらなるマッチングに努めるとともに、労働・福祉等の関係機関との連携を進め、特別支援学校の卒業生の持続的な就労に向けた取組を総合的に推進する。

項目	実績・進捗状況	
知的障害教育部門高等部生徒に係る就業3年後の定着率 年間目標 83% 年間実績 83.1%  <b>知的障害教育部門高等部生徒に係る清掃検定</b>	第1 四半期	企業での体験学習を6月から開始した。
	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業での体験学習(累計:18社、30人)を実施した。</li> <li>清掃技能検定(参加校:10校、71人)を実施した。</li> <li>ハローワークなど就労支援機関と連携し、企業を訪問するなど、就業定着支援への取組を進めた。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業での体験学習(累計:23社、87人)を実施した。</li> <li>ハローワークなど就労支援機関と連携し、企業を訪問するなど、就業定着支援への取組を進めた。</li> </ul>
	第4 四半期	清掃技能検定(参加校:18校、302人)を実施した。

6 生涯学習部

(1) 放課後等の子どもの安全・安心な居場所の確保

子どもたちが安全・安心に放課後等を過ごし、様々な体験・学習活動ができる居場所を確保するため、放課後や週末、早朝等に学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て市町村が設置する「放課後子ども教室」等の取組を促進する。

項目	実績・進捗状況	
市町村における放課後子ども教室等の設置小学校区数 年間目標 710件 年間実績 695件  <b>「放課後子ども教室」</b>	第1 四半期	小田原合同庁舎などで生涯学習指導者研修「放課後子ども教室等推進コース」を実施し、130人が参加した。
	第2 四半期	県民センターなどで生涯学習指導者研修「放課後子ども教室等推進コース」等を実施し、358人が参加した。
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>平塚合同庁舎などで生涯学習指導者研修「放課後子ども教室等推進コース」を実施し、160人が参加した。</li> <li>10月27日に県・市町村生涯学習・社会教育主管課長会議を開催し、事業実施及び拡充に向けて、周知・啓発を行った。</li> </ul>
	第4 四半期	2月に県・市町村生涯学習・社会教育主管課長会議にて事業説明を行った。

V 業務運営に関する評価

	第1 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育局の取組方針を策定し、年間目標の達成に向けて着実に業務を推進した。</li> <li>「県立高等学校入学者選抜学力検査採点誤りに関する再発防止・改善策」を策定した。</li> <li>「県内一斉ラジオ体操デー」を7月23日～25日及び8月20日～22日に設定し、周知した。</li> </ul>
--	--------	--



局長評価	第2 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校改革実施計画（I期）の次年度学科改編等対象校のうち4校の校名案の公表を行った。</li> <li>・グローバル人材の育成に向けて、英語資格検定試験活用促進支援事業の募集を行い、7,776人の生徒から応募があった。</li> <li>・「県内一斉ラジオ体操デー」を実施し、35,348人の参加があり、「みんな朝ラジ！！」参加者数の年間目標を達成した。</li> </ul>
	第3 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月5日に「かながわ人づくりコラボ2016」を開催（378人参加）し、県民との教育論議等を行った。</li> <li>・次年度学科改編等対象校として、4校の校名変更及び10校の学科の新設について、条例・規則を改正した。</li> <li>・インクルーシブ教育推進フォーラムを全3回開催（712人参加）し、インクルーシブ教育の普及啓発を行った。</li> <li>・いのちの授業大賞にかかる作品審査を行い、11月27日に表彰式を開催した。</li> </ul>
	第4 四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マークシート方式による採点、答案の写し交付、教育委員会による再点検等を行い、採点誤りのない入学者選抜を実施した。</li> <li>・小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率は44.8%で、実施率の年間目標を達成した。</li> <li>・「いのちの授業」大賞受賞作品の文集を作成し、各学校に配付した。</li> <li>・知的障害教育部門高等部生徒に係る就業3年後の定着率が83.1%で、定着率の年間目標を達成した。</li> </ul>
	総合評価	<p>平成28年度教育局の取組方針を策定し、かながわ教育ビジョンに掲げた理念の実現に向けて取り組み、概ね年間目標を達成することができた。主な年間目標の達成状況は次のとおりである。</p> <p><b>【目標を達成した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆まなびや計画の着実な推進については、耐震化工事等の年間目標を達成した。</li> <li>◆入学者選抜における誤りの防止については、マークシート方式による採点、答案の写し交付、教育委員会による再点検等を行い、採点誤りのない入学者選抜を実施した。</li> <li>◆ICT利活用教育の推進については、「生徒にICT活用を指導する能力が高まったと感じる教員の割合」の実績は73.3%で、年間目標（70%）を上回った。</li> <li>◆朝のラジオ体操を通して体力の向上と生活習慣の改善については、「みんなで朝ラジ！！」参加者数の実績は35,348人で、年間目標（18,000人）を上回った。</li> <li>◆子どもの未病対策の取組については、「小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率」の実績は44.8%で、年間目標（44%）を上回った。</li> <li>◆特別支援学校における就労支援の促進については、「知的障害教育部門高等部生徒に係る就業3年後の定着率」の実績は83.1%で、年間目標（83%）を上回った。</li> </ul> <p><b>【目標を達成できなかった取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆不祥事根絶に向けた取組については、懲戒処分者数が27人で、年間目標（11人以下）を達成できなかった。</li> <li>◆グローバル人材の育成については、「英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる全生徒に対する割合」の実績は38.6%で、年間目標（42.5%）を下回った。</li> <li>◆確かな学力の向上については、「主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力を高めることができたと思う高校生の割合」の実績は54%で、年間目標（59%）を下回った。</li> <li>◆インクルーシブ教育の推進に係る理解啓発については、インクルーシブ教育推進フォーラムの参加者数は712人で、年間目標（800人）を下回った。</li> <li>◆放課後等の子どもの安全・安心な居場所の確保については、「市町村における放課後子ども教室等の設置小学校区数」の実績は695件で、年間目標（710件）を下回った。</li> </ul> <p>平成28年度の業務運営状況を踏まえ、平成29年度においても、かながわ教育ビジョンに掲げた理念の実現に向け、教育施策を進める。</p>

連絡先 (電話番号)	045-210-8105
------------	--------------